

この柳田邦男絵本大賞も、今回ではや五回目を迎えました。応募作品が八百通を超えるという関心の盛り上がりを感じて、嬉しい限りです。

毎回、すぐれた文章が多く、最終選考で大賞や優秀賞の作品を絞るのに苦労します。どうしても入選作品数に限りがありますので、優れているのに入選からはずれてしまう作品があるのは、選ぶ立場からとても辛いことです。入選しなくてもがっかりしないで、次の回でまた投稿してほしいです。

入選した作品を読んでいただけるとわかると思うのですが、絵本のどういうところに感動したり面白く感じたりしたのか、それが自分の心や生活にどのような意味をもったり、影響を受けたりしたのかということが、しっかりと表現されているかということが、大事なポイントになります。入選作品一編ごとに添えた私の講評をぜひ読んで下さい。

今年もまた、たくさんの応募作品が寄せられることを期待しています。